



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	299,479	1.7	22,306	△8.0	24,045	△6.9	16,273	△5.7
29年3月期第3四半期	294,510	△0.7	24,243	6.4	25,816	8.5	17,253	9.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 19,854百万円 (△6.2%) 29年3月期第3四半期 21,155百万円 (13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	159.34	—
29年3月期第3四半期	168.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	381,450	295,375	74.5
29年3月期	361,074	281,795	75.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 284,337百万円 29年3月期 271,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	4.5	30,000	1.7	31,500	1.1	21,400	2.7	209.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	110,881,044株	29年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	8,751,888株	29年3月期	8,751,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	102,129,322株	29年3月期3Q	102,129,583株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、アジア新興国を中心とした経済成長の減速等により海外経済の不確実性が高まり、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は299,479百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は22,306百万円（前年同四半期比8.0%減）、経常利益は24,045百万円（前年同四半期比6.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,273百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、113.00円/米ドル（前第3四半期連結累計期間は、116.49円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、漁獲量減少や国内市場の競争激化に伴い環境が厳しさを増す中、各取引先への営業強化と仕入政策の見直しにより、商品力のある魚卵、鮭鱒製品を中心に販売が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は24,472百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。セグメント利益は、売上増に加え、原価率の改善に努めたことにより、354百万円（前年同四半期比38.2%増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では各取引先との取組み強化に努め、大陳企画等を積極的に実施したことにより増収となりました。メキシコでは問屋ルートの受注が順調に進んだことや大手量販店における特売実施に加え、袋麺の販売強化により増収となりました。その結果、売上高は57,061百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。セグメント利益は、人件費や運賃の増加等により、8,413百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」「ごつ盛り」及び25周年を機にリニューアルを実施した「麺づくり」等が好調に推移しました。更に、平成29年3月に発売した「MARUCHAN QTTA」も上乘せとなり、カップ麺全体で増収となりました。袋麺では市場全体が厳しい環境の中、「マルちゃん正麺」シリーズでは新フレーバーの発売や消費者キャンペーンの実施等需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は98,801百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。セグメント利益は、宣伝費や減価償却費の増加等により、6,739百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

低温食品事業は、生麺では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが堅調に推移し、平成29年2月に発売した2食入り焼そば「マルちゃん焼そば極み太麺」シリーズが上乘せとなったほか、2食入り生ラーメンの新商品「コクの一滴」シリーズの導入が進み、生麺全体で増収となりました。チルド食品では「マルちゃん焼そばシューマイ」や「マルちゃんスープワンタン」のほか、新発売した「マルちゃん焼そばギョウザ」が好調に推移しました。冷凍食品では、新商品を投入した「ライスバーガー」や、「珍々亭油そば」が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は52,414百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。セグメント利益は、売上増により、4,126百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

加工食品事業は、米飯ではレトルト米飯の玄米ごはんや赤飯は好調に推移しましたが、生産能力の増強が完了するまでの間、安定的に供給を続けるために、一時的な販売調整を実施した影響もあり減収となりました。フリーズドライ製品では新規導入店舗の拡大が順調に進み、増収となりました。その結果、売上高は16,162百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は、新工場稼働に向けた固定費の増加等により、327百万円（前年同四半期比49.9%減）となりました。

冷蔵事業は、積極的な営業活動により冷凍食品や畜産品を中心に保管・配送の取扱いが増加しました。その結果、売上高は13,598百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。セグメント利益は、売上増に加え、業務効率化等による経費の削減が寄与し、1,719百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は36,968百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は1,303百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は20,375百万円増加し381,450百万円、純資産は13,580百万円増加し295,375百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に受取手形及び売掛金、建設仮勘定、投資有価証券が増加し、有価証券が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金、未払費用が増加しました。純資産は、主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加しました。

この結果、自己資本比率は74.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成29年5月12日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,209	80,422
受取手形及び売掛金	50,315	66,332
有価証券	43,000	33,000
商品及び製品	15,678	17,859
仕掛品	409	261
原材料及び貯蔵品	5,307	5,689
繰延税金資産	1,825	1,268
その他	3,062	3,080
貸倒引当金	△493	△397
流動資産合計	197,314	207,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,557	57,655
機械装置及び運搬具(純額)	28,347	26,935
土地	35,336	36,157
リース資産(純額)	2,970	3,067
建設仮勘定	1,786	11,520
その他(純額)	1,356	1,199
有形固定資産合計	129,355	136,535
無形固定資産		
その他	2,428	1,844
無形固定資産合計	2,428	1,844
投資その他の資産		
投資有価証券	29,689	33,211
繰延税金資産	1,469	1,369
退職給付に係る資産	73	66
その他	1,074	1,235
貸倒引当金	△331	△331
投資その他の資産合計	31,976	35,551
固定資産合計	163,760	173,931
資産合計	361,074	381,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,339	29,291
短期借入金	267	290
リース債務	243	231
未払費用	19,713	22,148
未払法人税等	3,068	1,222
繰延税金負債	2	2
役員賞与引当金	196	39
固定資産撤去費用引当金	179	16
その他	2,208	3,732
流動負債合計	50,219	56,976
固定負債		
リース債務	3,955	3,802
繰延税金負債	4,021	4,176
役員退職慰労引当金	213	274
退職給付に係る負債	18,846	18,889
資産除去債務	229	214
その他	1,794	1,741
固定負債合計	29,060	29,098
負債合計	79,279	86,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	228,277	238,423
自己株式	△8,225	△8,227
株主資本合計	261,963	272,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,738	10,885
繰延ヘッジ損益	△5	1
為替換算調整勘定	2,627	3,264
退職給付に係る調整累計額	△2,124	△1,921
その他の包括利益累計額合計	9,235	12,229
非支配株主持分	10,596	11,037
純資産合計	281,795	295,375
負債純資産合計	361,074	381,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	294,510	299,479
売上原価	182,255	185,791
売上総利益	112,254	113,687
販売費及び一般管理費	88,011	91,380
営業利益	24,243	22,306
営業外収益		
受取利息	622	831
受取配当金	403	415
持分法による投資利益	88	112
賃貸収入	254	253
為替差益	289	71
雑収入	505	520
営業外収益合計	2,163	2,206
営業外費用		
支払利息	200	195
賃貸収入原価	50	46
支払補償費	26	88
貸倒引当金繰入額	150	—
雑損失	162	137
営業外費用合計	590	467
経常利益	25,816	24,045
特別利益		
固定資産売却益	19	34
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	1,119	—
その他	55	3
特別利益合計	1,194	38
特別損失		
固定資産除売却損	391	664
投資有価証券評価損	5	—
関係会社株式評価損	429	145
減損損失	765	10
その他	9	3
特別損失合計	1,601	824
税金等調整前四半期純利益	25,408	23,259
法人税、住民税及び事業税	7,925	6,973
法人税等調整額	△134	△316
法人税等合計	7,791	6,656
四半期純利益	17,617	16,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	364	329
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,253	16,273

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	17,617	16,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	663	2,346
繰延ヘッジ損益	79	7
為替換算調整勘定	2,532	637
退職給付に係る調整額	242	220
持分法適用会社に対する持分相当額	20	39
その他の包括利益合計	3,538	3,251
四半期包括利益	21,155	19,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,648	19,268
非支配株主に係る四半期包括利益	506	586

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	24,186	56,699	96,573	51,379	16,189	12,977	258,004	36,505	294,510	-	294,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	765	-	-	-	-	643	1,409	332	1,742	△1,742	-
計	24,952	56,699	96,573	51,379	16,189	13,620	259,414	36,837	296,252	△1,742	294,510
セグメント利益	256	9,343	8,493	3,807	654	1,419	23,974	1,165	25,139	△896	24,243

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△896百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△930百万円、棚卸資産の調整額12百万円及びその他の調整額21百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	24,472	57,061	98,801	52,414	16,162	13,598	262,510	36,968	299,479	-	299,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	768	-	-	-	-	749	1,518	182	1,700	△1,700	-
計	25,240	57,061	98,801	52,414	16,162	14,347	264,028	37,151	301,179	△1,700	299,479
セグメント利益	354	8,413	6,739	4,126	327	1,719	21,681	1,303	22,985	△678	22,306

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△678百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円、棚卸資産の調整額△30百万円及びその他の調整額228百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。